

人文論叢

三重大学人文学部文化学科研究紀要

第41号

目次

論説

経験主と使役主のコード化

— 日独語の構文に見る「事象の所有」 — 高橋 美穂 (1～14)

御嶽山南麓の溪流河川の流量計測 谷口 智雅 (15～24)

近現代日本における経済エリートと道徳性 永谷 健 (25～33)

ケアが紡ぐ人間関係と抵抗

— 『上海宝貝』再読 花尻奈緒子 (35～50)

Alphabetisierung als Sühne?

Analphabetismus in Bernhard Schlinks „Der Vorleser“ HAYASHI, Hideya (51～62)

思い出の〈須磨〉

— 『源氏物語』若菜巻の表現方法として — 亀田 夕佳 (一～九)

「閉門」考

— 張耒の閑居をめぐる — 湯浅 陽子 (二～六)

三重大学人文学部

2024